

投稿規定 (平成18年11月1日改訂)

1. HIKOBIA は原則として年1回、ヒコビア会より発行する。
2. 投稿者は原則として本会会員であること。
3. 送付された原稿のうち、論文については複数校閲者による校閲を受けるものとする。論文の内容に関して問題があると編集委員会が判断した場合は、編集幹事が投稿者に通知して訂正を求める。掲載が不相当であると委員会がみなしたものについては、理由を記して投稿者に返却する。
4. 和文原稿の場合は、A4判用紙を使用し、1行30–40字程度、25–30行程度で作成すること。著者の勤務先(ない時は住所)を脚注に付記すること。また、本文の前に、200語以内の英文摘要(その前後にそれぞれ、報文の題名、ローマ字書き氏名、住所を記す)を付けること。図の説明、表およびその説明は原則として全部英文にすること。この場合、学名、欧文用語、および数字は半角文字で記し、句読点はそれぞれ() および () とする。
5. 欧文原稿の場合は、A4判の用紙を使用し、標準的なフォント(Times New Roman など)およびサイズ(11ポイント程度)、本文は左寄せにして印刷すること。800字以内の和文摘要を付けること。欧文原稿は原則として、その言葉を日常語とする人の校閲を受けること。校閲を受けずに送られた欧文原稿は、編集幹事より校閲を依頼することがある。その場合の費用は著者負担とする。
6. 原稿は電子メールによる入稿とする(ただし、上限5MB程度)。ファイルサイズが大きい場合は、CDやDVDなどの記録媒体で送付のこと。
7. 引用文献には、本文中に引用した文献のみをリストし、和文、欧文を含めて、著者名のアルファベット順に配列すること。引用文献は次の形式にする。
 - a. 論文の場合: 著者名. 発表年. 論文表題. 掲載雑誌名 巻: ページ.
(例)
Kobayashi, Y. & Watari, S. 1934. Microphotographs of lower plants (V). *J. Jap. Bot.* 10: 648–657. (In Japanese).
沼田真・延原肇・鈴木啓裕. 1953. 植物群落と等比級数則. *植生生態会報* 3: 89–94.
Poelt, J. & Buschardt, A. 1978. On some notable lichens from Norway. *Norw. J. Bot.* 25: 123–136.
 - b. 単行本の場合: 著者名. 発行年. 表題. ページ数. 発行所, 発行地.
(例)
Smith, G. M. 1950. *The Fresh-water Algae of the United States.* 719 pp. McGraw-Hill, New York.
- Richards, P. W. 1979. A note on the bryological exploration of North Wales. In Clarke, G. C. S. & Duckett, J. G. (eds.), *Bryophyte Systematics*, pp. 1–9. Academic Press, London.
- 鈴木時夫. 1952. *東亜の森林植生.* 137 pp. 古今書院, 東京.
8. 図はケント紙、トレーシング用紙などに黒インクで書き入れたもので、原則としてそのまま製版できる状態に作製すること。図は印刷される大きさの1.5–2倍大(長さ)に描き、また写真は1.0–1.5倍大とし、白黒光沢印刷紙に焼き付けること。図および写真中の記号、数字は印刷に適したものをを用いること。やむをえずカラー印刷にする場合は、リバーサルタイプのフィルムを用い、トリミングの必要なものは、プリントされた写真に範囲を指定したものを1枚添付すること。群落組成表は原則として1–2頁に入るように作成すること。折り込みにせざるを得ない場合や、1つの表が数頁にわたる場合は、予め編集委員に相談すること。群落組成表は、原則としてそのまま縮小して印刷するので、大きさや形式などに留意すること。電子ファイルでの投稿も可とするが、印刷解像度やファイル形式に留意すること。
9. 図の説明は別紙とする。表と図を入れる場所を本文原稿の左欄外に明示すること。プレートは原則として設けない。
10. 単位はSI単位系とすること。記号などはIUPAC-IUBMB規約に従うこと。
11. DNAやタンパク質の配列は、それぞれのデータベースに登録すること。出版の際にはアクセス番号が印刷できる状態で投稿すること。
12. 登載する順序や体裁は編集委員に一任のこと。
13. 校正は原則として初校のみ著者が行い、再校以降は編集幹事の責任において行う。やむをえず原稿の一部を書き換える場合は、組み直しに要した費用を著者が負担すること。図の変更は原則として認めない。
14. カラー頁の製版料は著者負担とする。
15. 別刷の費用は著者負担とする。別刷りの必要部数を原稿に明記すること。共著の場合は、各著者の必要部数を明記すること。
16. その他詳細は「HIKOBIA」最近号および、Webサイト(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hikobia/>)に掲載された投稿規定を充分に参照すること。
17. 送稿や編集に関しての通信は、〒739–8526 広島県市鏡山1–3–1, 広島大学理学部生物科学科内「ヒコビア」編集委員会宛(Tel. & Fax.: 082–424–7452, E-mail: hikobia@hiroshima-u.ac.jp) とすること。